

目標1 ゆるやかにつながれる地域をつくる

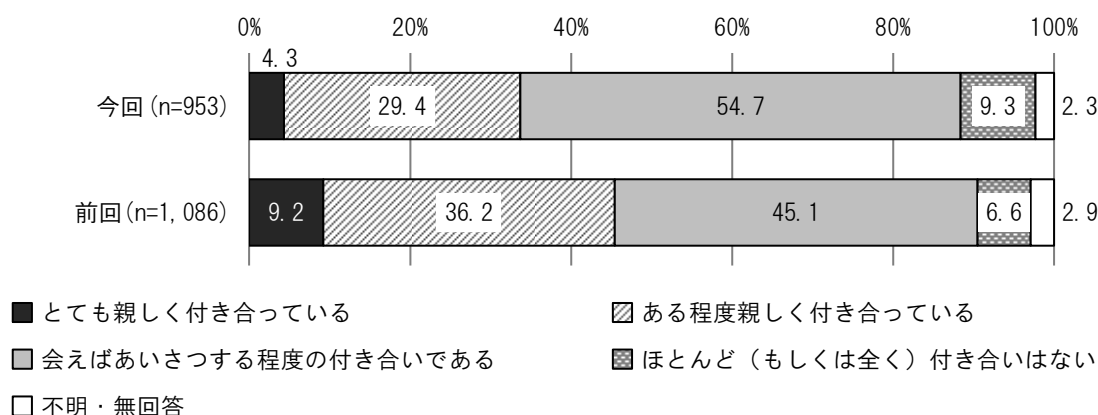
現状と課題

近年、少子高齢化や核家族化による世帯の少人数化、生活様式の多様化等の影響により、地域のつながりの希薄化が指摘されています。

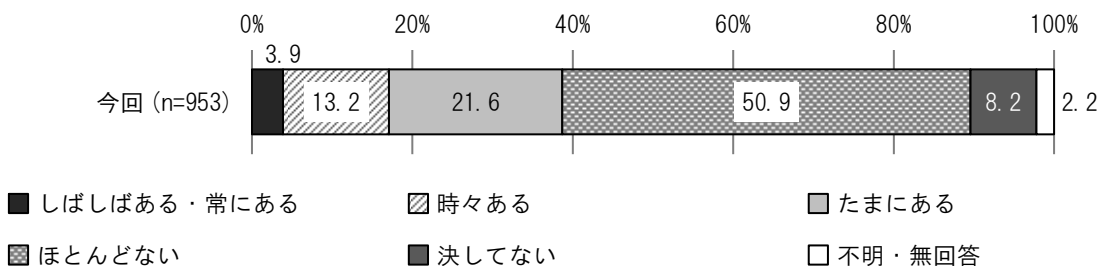
本市においても、近所付き合いの希薄化がうかがえるほか、地域の中で課題に感じることとして、地域の人同士の交流の少なさ、世代間交流の少なさが多く挙げられています。

また、孤独であると感じることがある市民の割合も一定数おり、身近な地域のつながりや、それぞれが興味を持てる趣味・生きがい活動を通じて、誰もが安心して暮らせる地域づくりが重要です。

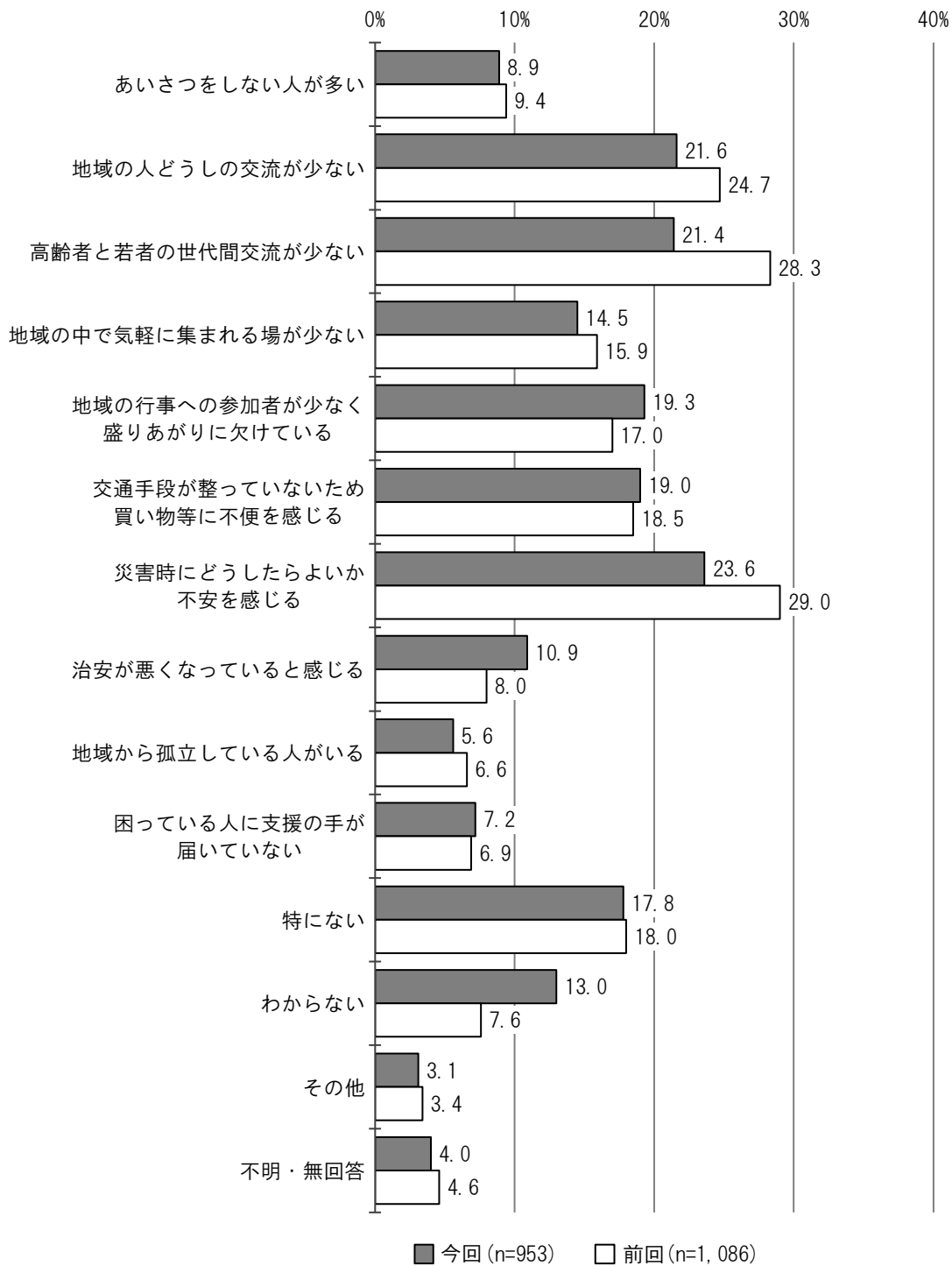
■ふだんの近所付き合い 市民アンケート



■孤独であると感じるか 市民アンケート（今回調査のみ）



■地域の中で課題に感じること 市民アンケート



■団体ヒアリングより

- こどもが大きくなると出て行ってしまうため、自治会が衰退している。活動などに参加しない、参加できないなどいろいろな人がいて、参加してもらうまでが難しい。
- 同居家族が少ないため、若者と高齢者の交流がなくなっている。元気で施設に入っていないような高齢者が集まる場所が各地区にあると良いと思っている。
- 道で会っても挨拶がなく、お店も少ないため、ちょっと出かけるような場所が必要だと感じている。

施策の方向性（１）地域における多様な交流機会の確保

取り組みの方向性

自治会をはじめとする地域コミュニティ活動を行う団体が実施する、身近な地域における交流行事や居場所づくり、支え合い活動を支援することで、一人ひとりの孤立を防ぎ、交流できる地域を目指します。

また、小・中学校と社会福祉施設の交流会や、まごころ訪問等を通じて、世代間交流を推進することで、地域における多様な交流機会の確保を図ります。

目指す地域の姿



数値目標

自治会に加入している世帯の数

市における全世帯のうち、自治会に加入している世帯の数。

42,575 世帯 >> 42,575 世帯

現状値 目標値
(令和3(2021)年度) (令和9(2027)年度)

※この指標は第2次深谷市総合計画後期基本計画で設定された指標であるため、現状値は令和3年度の値となっており、目標値は令和9年度の値となっています。

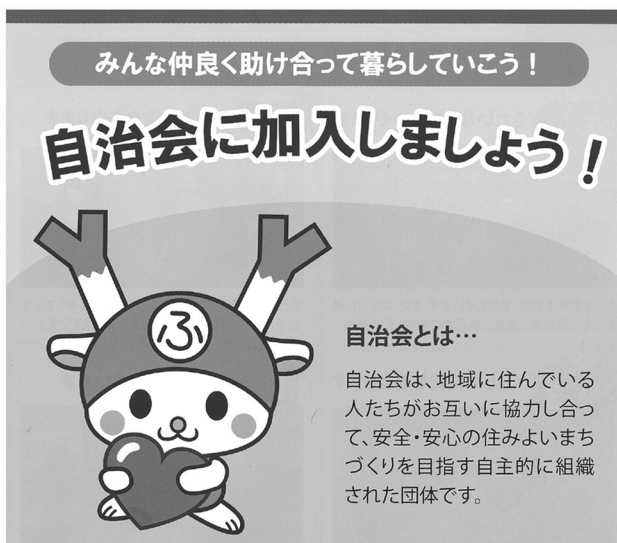
取り組み① 自治会活動を支援します

【自治会活動振興事業】

地域コミュニティ活動の中心的役割を担う自治会の活動を支援するため、活動拠点である自治会館の改修や掲示板の設置等に対して補助します。

また、公民館が相談窓口となり、地域をサポートするとともに地域コミュニティに対する理解を図ります。

【担当】自治振興課



【地域で取り組む環境美化活動】

こどもから高齢者まで地域で美化活動に取り組むことにより、地域コミュニティを活性化します。

【担当】環境課、環境衛生課

取り組み②

世代間交流を推進します

【福祉教育の充実】

小・中学校において、福祉体験や調べ学習等を行うことで、障害者や高齢者等に対する理解を深めるとともに、福祉施設を訪問して交流活動を行います。

【担当】学校教育課

【まごころ訪問】

市内の小・中学生が育てた花を、民生委員・児童委員が一人暮らし高齢者のお宅を訪問し、手紙と一緒に届ける活動を行っています。

【担当】学校教育課

【福祉の心を育む交流事業】

学校、福祉施設、社会福祉協議会で連携し新たな交流事業を創造し、寄付文化の醸成や高齢者とのふれあい交流を行います。

【担当】社会福祉協議会



紹介する取り組み

【ふれあい・いきいきサロン①】

身近な地域で誰もが参加できる、「ふれあい・いきいきサロン」を行っています。

人との会話や外出の機会のあまりない高齢者、障害者、子育て中の方など、地域住民が楽しく過ごせる場を提供し、仲間づくりを通して、安心して生活できる地域づくりを目指しています。運営は地域の皆さんで行っています。

【担当】社会福祉協議会



【地域のお茶の間】

身近な場所で気軽に集まることができる、市民同士の多様な“出会いの場”、“交流の場”、“仲間づくりの場”です。

空き部屋やスペースを活用し、生きがいと交流、仲間づくりを進める「地域のお茶の間」として、我が家に居るような感覚で、わいわい賑わってもらえる場です。

令和7（2025）年4月1日現在、市内21か所の登録があります。

（詳細は市ホームページ内で「お茶の間」で検索）

【担当】福祉政策課



【こども食堂】

こどもたちに食事と居場所を提供し、こどもと地域をつなぐ役割を果たしている「こども食堂」。その活動が現在全国で広がっており、無料または低額でこどもや親子に食事を提供しています。

【問い合わせ先】社会福祉協議会





その他の関連事業

【青少年健全育成環境づくり】

次代を担う青少年を、心身ともに、たくましく健やかに成長させることを目的とし、「深谷市子どもサポート市民会議」の運営を支援するなど、地域が主体となって青少年健全育成活動に取り組むことへの支援を行います。

【担当】 こども青少年課

施策の方向性（２）健康づくり、趣味・生きがい活動の活性化

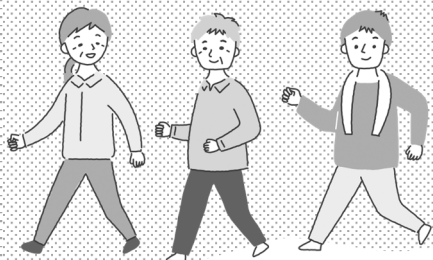
取り組みの方向性

住民主体の健康づくり活動を支援することにより、健康でいつまでも元気に暮らし続けられる地域づくりを推進します。

また、スポーツや生涯学習活動など、趣味や生きがいの活動に取り組むことで、仲間づくりや身近な相談相手づくりなどのきっかけとなるよう、活動の支援を行います。

目指す地域の姿

みんなで健康づくりに
取り組む地域



趣味や生きがいの活動で
生き生きとつながれる地域



数値目標

普段の生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合

60.6% >> 73.1%

「運動や歩くことなど普段の生活で健康づくりに取り組んでいる」と答えた市民の割合。

現状値
(令和3(2021)年度)

目標値
(令和9(2027)年度)

※この指標は第2次深谷市総合計画後期基本計画で設定された指標であるため、現状値は令和3年度の値となっており、目標値は令和9年度の値となっています。

実現するための取り組み

取り組み① 地域主体の健康づくり活動を推進します

【ためるんピックふかや（市健康マイレージ事業）】

市民の健康づくり活動をポイント化し、ポイントが貯まったら景品と交換できる「ためるんピックふかや」を市全体の協働の取り組みで実施します。

【担当】保健センター



【住民主体の通いの場】

「住民主体の通いの場」の活動を支援します。

※「住民主体の通いの場」とは、住民の皆さんが自ら主体となって、地域の中で歩いて通えるような場所で、重りを使った体操「深谷㊦っかつ体操」を行うことで、介護予防と地域での見守りや支え合いを促進する取り組みのことです。

【担当】長寿福祉課



紹介する取り組み

【ふれあい・いきいきサロン②】

21 ページで紹介した「ふれあい・いきいきサロン」では、活動内容として散歩や健康相談、介護予防教室などを実施しており、高齢者の健康づくりにもつながっています。

サロンに通うことで外出の機会が増え、生活に張りができ、楽しみが増えることで、介護予防につながっています。

【担当】社会福祉協議会



【ふかや市民大学】

学習を通じて人と人をつなぎ、生涯学習やボランティア活動への理解を深めるための講座を、18歳以上の方を対象に、年間20回開催しています。

内容は郷土学／健康・医療／安全安心／現代社会／芸術／班活動など、多岐にわたります。

受講者は卒業後もボランティア活動などを通して、地域で活躍しており、特に、卒業生の多くの方が加入しているふかや市民大学校友会では、会員相互の親睦といきがいをもつ事業や市との共催事業等を行っています。

【担当】生涯学習スポーツ振興課

その他の関連事業

【スポーツ・レクリエーション活動活性化】

市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進と健康の保持増進に向けて、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の活性化に取り組むとともに、市民活動団体が実施する市民大会・各種市民教室の運営支援を行います。

【担当】生涯学習スポーツ振興課

施策の方向性（3）社会参加しやすい環境づくり

取り組みの方向性

障害者や認知症^{*用語}の方等に対する理解を深めるために、講演会や講座等を開催することにより、心のバリア（障壁）を取り払い、誰もがお互いを認め合い交流が盛んな地域づくりを推進します。

また、子育て世代や高齢者、障害者等にとっても暮らしやすい住環境の整備や、交流の場に出向くための移動手段の確保やコミュニケーション支援を行います。

目指す地域の姿

障害者等に対して
理解のある地域



子育て世代や高齢者が
暮らしやすい地域



誰もが快適に移動できる
地域



数値目標

障害者や認知症の方等に対する理解を深める講演会や
講座等の実施回数

障害者等への理解を深める講演会等の実施回数（現状値 3 回→目標値 3 回）
と、認知症サポーター養成講座の実施回数（現状値 11 回→目標値 18 回）の
合計。

14 回 >> 21 回

現状値 目標値
(令和 6 (2024) 年度) (令和 13 (2021) 年度)

※講演会に参加する人や養成講座を受講する人が増えることで、障害者や認知症の方への理解促進が期待されることから、令和 13 年度までに現状値より回数を増やしていくことを目標とします。

実現するための取り組み

取り組み① 社会参加しやすい環境を整えます

【障害者等への理解を深める講演会等】

福祉サービス事業所、民生委員・児童委員や、市民の方に向けて、障害者等に対する理解を深めるための講演会等を実施します。

【担当】障害福祉課



【認知症サポーター養成講座の開催】

認知症に関する基本的な知識や対応の仕方を学び理解することで、認知症の方やその家族を地域で支える認知症サポーターを養成します。

【担当】長寿福祉課



【子育て世代や高齢者、障害者等、誰もが住みやすい住環境整備】

子育て世代や高齢者、障害者等の誰もが安心して暮らしやすい魅力あるまちを目指し、計画的な土地利用を進めています。

【担当】都市計画課

紹介する取り組み

【福祉健康まつり】

専門家による健康チェックや、各種相談コーナーで体の気になる箇所を相談することができます。また、アトラクションや福祉団体による屋台ブースなど併せて約 100 団体が参加し、まつりを盛り上げています。

毎年 10 月頃に行われますので、是非ご来場ください。

【担当】福祉政策課



【障害者文化作品展】

障害者による絵画、写真、書、手工芸品、俳句、川柳、彫刻、陶芸等の作品を幅広く展示・公開する作品展を開催しています。障害者が作品展を目指して創作活動に意欲的に取り組むことや、障害の有無にかかわらない市民同士の心のふれあいを促しています。

【担当】障害福祉課

■コミュニケーション支援

【手話通訳者・要約筆記者の派遣】

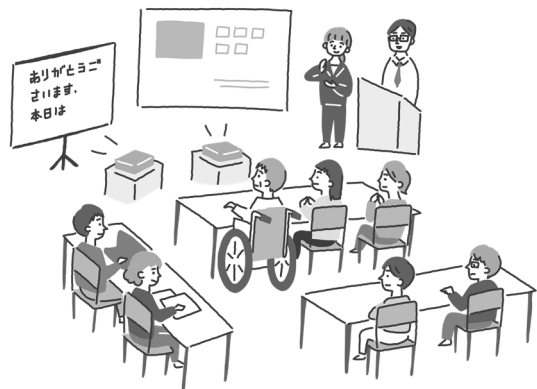
聴覚に障害のある方の意思疎通を支援するため、手話通訳者及び要約筆記者の派遣を行っています。

【担当】障害福祉課、社会福祉協議会

【手話奉仕員及び手話通訳者の養成】

手話を学びながら、聴覚障害について知識と理解を深めるとともに、手話通訳ができる人材を養成するための講座を行っています。

【担当】障害福祉課、社会福祉協議会



■多様な移動手段の展開

【福祉タクシー】

障害者手帳の交付や介護認定を受けており、一定の基準を満たす方に対し、埼玉県内の協定タクシー業者を利用する際、初乗運賃相当額を助成できる福祉タクシー利用券を交付しています。

【担当】障害福祉課、長寿福祉課

【ねたきり高齢者等移動支援】

自力で移動できない要介護者に対し、寝台専用車両による移動サービスの利用料金を助成しています。主に自宅と医療機関等との送迎のための交通手段としてご利用いただけます。

【担当】長寿福祉課

【福祉車両の貸出】

障害者や介護認定を受けている方に対し、交通手段として福祉車両（リフト付き、スロープ付き、シート回転式）の貸し出しを行っています。

【担当】社会福祉協議会



【運転ボランティア派遣】

障害者や介護認定を受けている方へ通院や買い物、公共施設への手続き等の交通手段として、運転ボランティアの派遣を行っています。

【担当】社会福祉協議会

【コミュニティバス】

深谷市コミュニティバス「くるリン」は、深谷駅を中心にダイヤとルートが決められている定時定路線型バスと、利用者が事前に乗りたい場所や時間を予約するデマンド（事前予約型）バスの2種類を運行しています。

【担当】都市計画課

その他の関連事業

【ユニバーサルデザイン^{*用語}の普及啓発】

すべての人が利用しやすい施設、物（製品）、環境、サービス等をつくる、ユニバーサルデザインのまちの実現に向けて、出張講座等各種啓発活動を行い、ユニバーサルデザインの実現に不可欠な、市民一人ひとりのちょっとした思いやりや手助けを促しています。

【担当】協働推進課